The School Guide That Will Change You !

誰かの答えではなく、
誰かの行動を待つ自分ではなく、
自分の「好き」で動き出す。

まだ知らない「　」に会いに行く。

長崎県立宇久高等学校

- NAGASAKI UKU HIGH SCHOOL -

Student Voices -在校生の声-

生徒会長

木戸 翔太 / Kido Shota

宇久高校を一言で表すなら、
「やりたいことを、本気で実現できる学校」です。
先生方と生徒、生徒同士の距離がとても近く、互いに支え合いながら挑戦できる環境があります。
だからこそ、自分の「好き」を大切にしながら、その思いを形にしていくことができます。
この学校では、一人ひとりの「好き」が認められ、大切にされます。
そして、その「好き」を起点に、それぞれが自分らしく輝くことができます。
ここには、誰もが主役になれる場所があります。
ぜひ、宇久高校で新しい一歩を踏み出してみませんか。

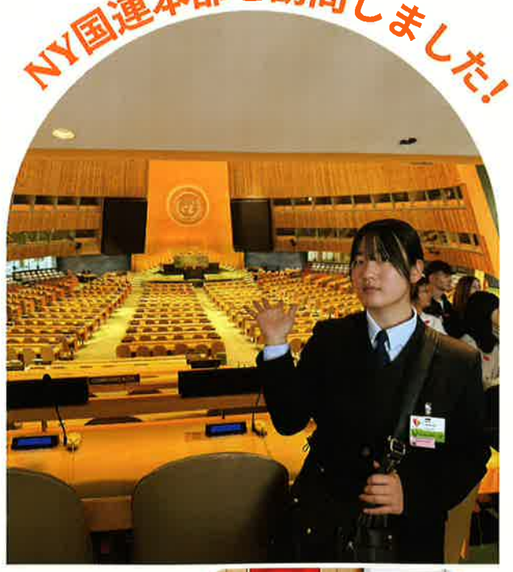
中学生へメッセージ

国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール文部科学大臣賞受賞

中村 真帆 / Nakamura Maho

「離島の学校だから、規模が小さいから、選択肢も限られているのではないか。」 そう思う方もいるかもしれません。かつての私も、同じように迷っていました。そんなとき、宇久高校の先輩が、「ここでは、自分のやりたいことができるよ」と声をかけてくださいました。その言葉を信じて、ここに来てみると、本当にその通りでした。
先生方は一人ひとりに向き合い、進路や学びに寄り添いながら、私の中にあった可能性を、少しずつ広げてくれます。
気づけば、以前の自分では考えられなかったような世界に飛び込む挑戦ができるようになっていました。
離島の学校だから、限られるのではなく、
離島の学校だからこそ、広がっていく。
ここには、自分の可能性を信じられる毎日があります。
宇久高校で、待っています！

NY国連本部を訪問しました!



中学生へメッセージ

Our Favorite Places
-お気に入りの場所-

【３Dプリンター】

URoom
-最新機材を活用した学び-

【いつでも、だれとでもつながる遠隔配信機材】

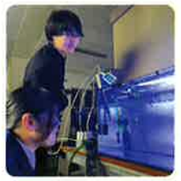
【XRoomからの景色】

XRoom
-みんなが自由に集う学びの場-

【ホワイトボードや付箋を用いて自由に学ぶ場】

ドローンコンテストで受賞も！

ドローンがたくさん！
天体望遠鏡に、AI搭載
議事録デバイス、
GoPro、VRセットまで。
校舎に水槽…?…ウニ！?
学びが深まる予感！



授業も、行事も、日常も、

総合的な探究の時間

好きなモノコト、ありますか?

自分の好きを見つけて、深めて、そして究める。
宇久島のフィールドを生かして、主体的・科学的に
自らの「好き」を追究する。

好きが、生き方や価値観につながる最高の体験を。

探究型授業

学びは、「なぜ？」からはじまり、広がる。

問いから始まる授業。対話で深まる学び。
仲間と考えを広げ、新しい見方に出会える。

毎時間が発見の連続！
実現できる。あなたらしい学び方を。

探究型特活

大切なのは、「ワクワク」を形にすること。

「やってみたい！」が学校を動かす。
行事も学校づくりも、自分たちがつくる。

主体性が育つ毎日へ。
行動が、問いとなり、学びへとつながる。

YouTube

教員VS生徒！？全校かくれんぼ

逆転授業～生徒が先生に！～

すべてが探究。

海を越えて、自分を変える

離島留学のアレコレ聞いてみた…！

いよいよ始まった離島留学制度。
今回は、**1期生の山本さん(1年生) と 離島留学担当の小村先生** にインタビューをしてみました。

Q　入学しようと思ったきっかけは？　《 山本さん 》

　少人数を生かした教育に魅力を感じたことが、宇久高校に興味を持ったきっかけです。マンツーマンに近い環境で学べることで、学んだことがしっかり身につくのではないかと思いました。
　そしてもう一つ大きかったのが、自然の豊かさと、島の人たちのあたたかさです。少人数であることは以前から知っていましたが、それ以外の魅力は、昨年10月に参加した離島留学体験会で初めて実感しました。
　体験会では民泊をさせていただき、島の方々が本当に優しく、まるで家族のように迎えてくださったことがとても印象に残っています。先輩や先生方も温かく接してくださり、新聞紙タワーや座談会を通して、学校生活や島の魅力を丁寧に教えてくださいました。その時間がとても心地よくて、気づけば自然と笑顔になっていました。
　中でも忘れられないのは、体験会の帰りに船に乗ったときのことです。見えなくなるまでずっと手を振りながら、「頑張ってね」と声をかけ続けてくださった姿に、「こんなにも一人ひとりを大切にしてくれる場所があるんだ」と胸がいっぱいになりました。そのときのあたたかい気持ちが、今でも心に残っています！
　そして、「ここで学びたい」と強く思い、宇久高校への進学を決めました。

Q　いよいよ楽しみにしていた離島留学生(山本さん)との学校生活が始まりました。今のお気持ちは？　《 小村先生 》

　離島留学体験会に来てくれたことは、今でもはっきりと覚えています。宇久高校の良さを少しでも伝えたいという思いで迎えました。体験会の後、山本さんや保護者の方から「本当に楽しかったです」「ありがとうございました」といった言葉をいただいたときはとても嬉しく、心に残っています。…きっと、はじめは知らない島に来ることへの不安もあったと思います。
　そうした中で宇久高校を選び、海を渡って来てくれたこと。その勇気と決断に、今も強く心を動かされています。

Q　宇久島での生活がスタートしました。実際の生活はどう？　《 山本さん 》

　宇久島は、思っていた通り、とても素敵な場所だと感じています。離島留学体験会のカヤック体験のときにも感じましたが、驚くほど海がきれいで、見ているだけで心が癒されます。実は、入学前に家族で宇久島を訪れたことがあります。そのときに丘の上から見た海や、朝日と夕日の景色が本当に美しくて、今でも忘れられない思い出です。そして何より、人のあたたかさに何度も驚かされています。初めて会った私たち家族に、おすすめの場所を案内してくださったり、ガイドをしてくださったりして、とても親切にしていただきました。
　入学した今でも、変わらず気さくに声をかけていただいています。これまでこんなふうに声をかけてもらう経験があまりなかったので、とても嬉しく、心があたたかくなります。

Q　山本さんのお話を聞いてみて、先生も自然の豊かさや人の温かさを感じますか？　《 小村先生 》

　私も同じように感じています。人がとてもあたたかく、どこかほっとできる、居心地の良さがあります。また、最近は自然の変化を日々感じられることに、改めて宇久島の魅力を実感しています。例えば、海を眺めていると、その日ごとに音が違うことに気づきます。雨の日や風の強い日には、波の音が少し変わって聞こえるのです。宇久島で生活するまでは、そうした違いに目を向けることはあまりありませんでした。こうした日々の小さな変化に気づけるようになったことで、自分の感性も少しずつ磨かれているように感じています。
…「島」と聞くと、不便そう、大変そうというイメージを持たれるかもしれません。しかし実際には、そのような不便さを感じることはほとんどなく、車がなくても生活できる環境の中で、自然をより身近に感じながら暮らすことができます。ここには、人間らしい豊かな生活があると感じています。

SCAN ME!
リアルな声をCheck！

Q　宇久高校への進学を決めた理由の一つに、「少人数教育」「少人数の活動」がありました。実際の授業はどう？《 山本さん 》

　今は1年生が私一人という環境ですが、以前のように大人数で授業を受けていたときと比べると、学習の理解度は大きく違うと感じています。人数が多いと、先生に名前を覚えてもらうことも難しかったり、授業の進度に合わせる中で、分からないことがあってもなかなか言い出しにくかったりすることがありました。その点、宇久高校では、分からないことを気軽に「分からない」と言える環境があり、とても安心して学ぶことができます。
…最初は少人数で授業を受けることに不安もありましたが、実際には一人で受けているという感覚はなく、先生も一緒に授業の中に入り、対話しながら考えを深めていくような時間になっています。ここでしかできない学び方だと感じています。また、例えば学級目標を決める際にも、多くの先生方と対話を重ねながら考えをまとめていきました。授業によっては先輩と一緒に学ぶこともあり、少人数でありながら、さまざまな人と関わりながら学べる環境があります。今はとても充実した毎日を送っています。

逆に、先生は少人数で授業をしてみてどうですか？　《 小村先生 》

　私たち教員にとっても、少人数での授業は大きな魅力があります。一人ひとりの理解の状況に合わせて、「ここはすぐに進めよう」「ここはもう少し時間をかけよう」と柔軟に調整できるため、生徒に合った形で授業を展開することができます。そうした中で、生徒の考えに寄り添いながら、対話を通して学びを深めていけることは、この環境ならではの価値だと感じています。まさに、一人ひとりに合わせたオーダーメイドの授業ができる点が、宇久高校の大きな強みです。

Q　最後に、離島留学を考えている中学生へメッセージをお願いします！　《 山本さん 》

「誰かに言われたから」とか、「こうしなければいけないから」といった理由で、自分の気持ちを抑え込む必要はないと思います。自分が本当にやりたい/行きたいと思った気持ちを信じて、大切にしてほしいと思います。
　私自身、「ここに行きたい」と思えたからこそ、宇久高校を選びました。もちろん、宇久高校のように海を越える選択には勇気がいることかもしれませんが、自分で決めて選んだこの道を、今は本当に良かったと思っています。今、私は宇久島で楽しく生活できています。ここなら、夢を叶えられると思っています。今回お話したことが、これから進路を考える中学生の皆さんの参考になれば嬉しいです。

《 小村先生 》

　海を越えて宇久高校に入学するという選択は、とても勇気のいることだと思います。だからこそ、「ここなら、自分もできるかもしれない」と少しでも感じてもらえるような学校でありたいと思っています。そして、もしその気持ちが芽生えたなら、ぜひ体験会に参加してほしいと思います。
　また、これまでと同じ環境で過ごすことに、どこか不安や迷いを感じているのであれば、宇久高校は自分を変える大きなきっかけになるはずです。…今年度、山本さんが入学してくれました。山本さんが世界で一番幸せな１年生になれるように心から支えていきたいと思っています。様々な生徒の決断や想いに応えられるよう、一人ひとりの選択に真摯に向き合いながら、これからも離島留学生を迎えていきたいと考えています。

フォロワー急増中!!

公式Instagram

毎週更新中！

「宇久高校　インスタグラム」で検索！

学校情報等

【公式ホームページ】

【進路実績等】

※入試情報につきましては、公式ホームページをご覧ください。

離島留学の詳細は
右のQRコードから
アクセスしてね！

School Guide －2026－

中学生の君へ

なんとなく今日も、同じ一日。
周りに合わせて、笑って、過ごして。
それなりに楽しい。
だけど、一人になるとふと思う。

このままで、いいのかな。

気づけば、
周りに合わせることが上手くなっていた。
本当は好きなことも、やってみたいこともあるはずなのに、
口にしないまま過ぎていく。

「現実って、こんなもんだよね」
そうやって、自分に言い聞かせながら。

でも心のどこかで、
変われたらいいなと思っている自分がいる。

鳥のさえずりに癒されながら登校する朝。
教室の窓から海を眺める休み時間。
島民のあたたかい「おかえり」が包む放課後。
空一面に広がる満天の星空。

もしかしたら、変われるかもしれない。

これまでと少し違う毎日が、
心の中にあった「好き」を
少しずつ大きくしていく。

今まで気づかなかった
自分の「好き」を教えてくれる。

誰かの答えではなく、
誰かの行動を待つ自分ではなく、
自分の「好き」で動き出す。

その一歩が、まだ知らなかった自分を連れてくる。

自分らしさは、誰かに決められるものじゃない。

その答えは、きっとあなたの「好き」の中にある。

長崎県立宇久高等学校

NAGASAKI UKU HIGH SCHOOL